

中国親文

奇跡的な体験



▲「元克」軍団出発

↑引率の佐々木元克先生

宮城県の代表として、日中の友好を深めるために、私達は中国との交流を深めるために、なんとVIP待遇で七月八日～十五日の一週間、青少年団の一員として中国を訪問しました。メンバーは育英・仙台東・宮農・県工でした。中国へ出発する

ときには初めて会うメンバー同士でギクシャクしていましたが、最終日にはとても仲良くなることができました！今回はそんな私達が中国で体験した事を簡単に紹介したいと思えます。

(インテリア科
二年 神林きら)

プチ話

*wechatで中国の学生の謎変換によるおかしな返事
「あんたは？」 「ハハ、いい午後」
「そこは面白いところではない」「それは我らの国宝だ」
*食卓に水が出ない(コーラとスプライト)
*結論・日本の中華は嘘く中華であって中華でない



▲中国の学生さんたち

交流会は四回あり、私達宮工生はソーラン節を披露しました。そしてインテリア科からは佐々木賢二先生のご協力のもと作成した桜の木のストラップをプレ

交流会

宮工親文
発行日2018.8.31
第5号



▲日本語劇の様子

ゼントしました。とても喜んでくれたので良かったです。他の科も素敵な物をプレゼントしていました。また中国の学生さんはフレンチで友達も沢山できました。学生さんのゲームでSSRキャラを出してあげられた事が一番の思い出です。他にも中国語を教えて貰ったり日本語劇見せて貰ったりと、とても楽しい交流会でした。

(神林きら)

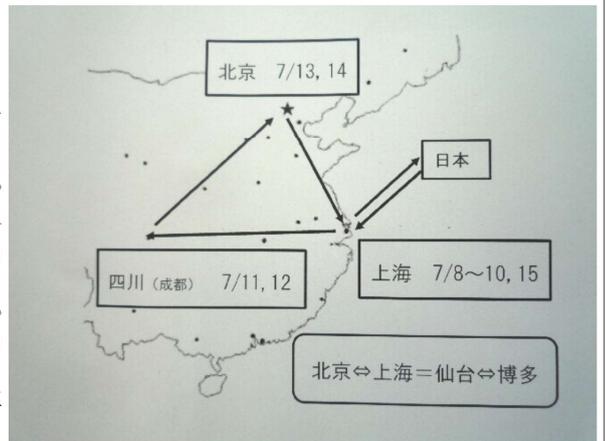
多忙過ぎ!

交流会をし、夜は雑技団を見学。三日目。上海科学館と上海歴史博物館を見学し時間に追われた私達は飛行機に乗り遅れないよう広い空港を全力ダッシュ。

一日目。日本から上海へ。食事をしながらガイドさんの話を聞きながらホテル。二日目。上海タワーと博物館を訪れた後、交流会をし、夜は雑技団を見学。三日目。上海科学館と上海歴史博物館を見学し時間に追われた私達は飛行機に乗り遅れないよう広い空港を全力ダッシュ。

四日目。四川に行き被災地を周り交流会。そしてひまわりの種を食べながら仮面劇を見学。五日目。パンダを見る。四川省外務弁公室による歓迎昼食会。その後交流会をし、空港へ。六日目。北京に行き、有名なお店で北京ダックを食べ、交流会。夜は京劇。七日目。北京の万里の長城に登り、中国結びを体験。出発時間が早かったのでこの日六人で最後の夜はオール。八日目。朝の四時集合で北京から上海を経由して帰国。

(神林/遠藤)



感想



▲万里の長城

機会に恵まれ勢いで訪問した中国でしたがとても楽しむ事が出来ました。百聞は一見にしかず。行ってみなければ分からない事も沢山ありました。今回はそれを実感できた一週間でした。(神林きら)
行ったという実感もなく中国に行ってきた。中国は世界が違いました。一番印象に残っているのは、中国の料理です。毎日コーラとスプライトはきつかったです。他校の人とも仲良くなれて良かったです。良い経験でした。(インテリア科
二年 遠藤菜摘)